



広報

うまじ

第228号

平成18年4月1日発行



古い？新しい？ ボンネットバスがやってきた！

目次

平成18年度馬路村一般会計当初予算	②③
馬路村まるごと体験ツアー	④⑤
授業でキャリア教育を進める ②	⑥⑦
待ちに待った「ゆずの森加工場」	⑧
Mr.カールのフォト・エッセイ ④	⑨
Dr高芝のうんちく・UNTIKU ②	⑩
ふるさとへの便り ⑰ フォト人ウォッチング ⑳	⑪
馬路村の歴史と伝説 ほか	⑫
自立協議会報告 ほか	⑬
お知らせ	⑭
村のできごと・村内あちらこちら	⑮

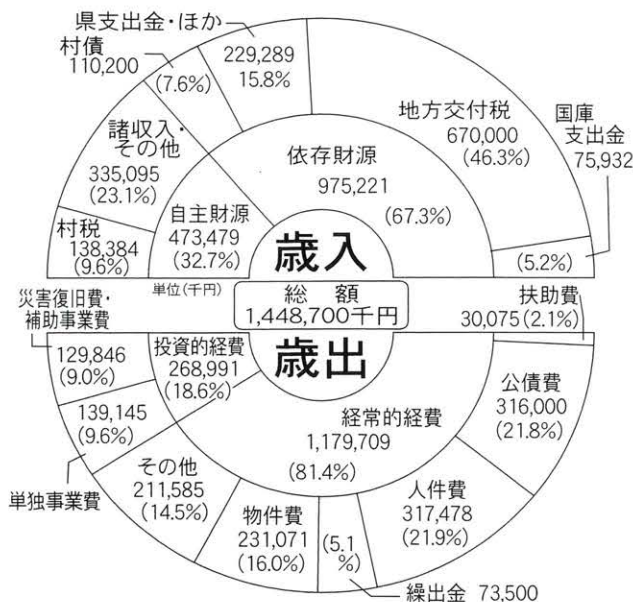
安芸広域市町村圏事務組合で購入したボンネットバス「ゴトゴト1号」が「村長が一日村を案内するツアー」「東谷専務が一日村を案内するツアー」でやって来ました。当日は村内で体験乗車があり、多くの方が楽しみました。今後は安芸-馬路間の定期バスとして利用されることも検討しています。新たな観光資源として活躍が期待されます。

(4,5ページに関連記事)

平成18年度 馬路村一般会計当初予算

当初予算十四億円台に 投資的経費六十一%の減

平成十八年度の当初予算は、一般会計十四億四千八百七十万円、前年度当初比二十一・六％（四億二千三百三十万円）の減、特別会計を含めた総額では、十八億八千九百五十万円、前年度当初比十七・五％（三億九千九百七十万円）の減となりました。一般会計当初予算へ入る十四億五千万円台を下回ったのは、実に平成四年以来の十四年ぶりとなりました。



馬路村では、赤ちゃんの元気な泣き声、子どもたちの元気な遊ぶ声と学ぶ姿、人々が元気に働く姿、お年寄りの笑い声の絶えない村を目指しています。そのためには、①産業の掘り起こしと振興②住民の健康・福祉の増進③少子化への対応④若者が定住する村づくり⑤交流人口拡大と村民との共同参加型を基本とした地域づくりを念頭に、事業の廃止、見直しも含めた、厳しい予算となっております。

◆ — ◆ — ◆
歳入 交付税額歳入では、三位一体の改革のため、交付税額の削減が続ぎ、六億七千万円と前年度当初比五・六％（四千万円）減となる見込みとなっております。平成十七年度に引き続き基金からの繰入金は、二億六千七万五千円と二億五千万円を超えることとなりました。

歳出 主に新ゆず加工場建設終了に伴い、普通建設事業費は、二億六千五百十九万五千円、前年度比六一・五％（四億二千三百四十二万五千円）の減少となりました。

一方、増額となる予算では、過年度借入事業の元金及び利子の償還費等として、公債費三億千六百万円を計上しています。主に平成十四年度分借入のエコアス馬路村への出資金をはじめとする過疎対策事業債が償還開始となるため、対前年度では二千三百万円（七・九％）の増となっております。

また、新しい事業として、国土調査（地籍調査）に取り組みほか、現行の業務委託に指定管理者制度が導入されます。

《各課の取り組みと事業概要》

総務課

自立を宣言した村として、確かな自立が可能となるよう個性あふれる地域づくりに取り組みます。

- 緑化推進コミュニティ事業 宝くじの普及広報活動事業である自治総合センターの補助を受け、紅葉や景観を大切にした風景づくりとして、日浦地区をモデル地区に指定し、モミジ、クヌギ、ツツジなど四季を感じる雑木を主体とした緑化に取り組みます。
- 給与制度改革 昨年度に引き続き、特別職の報酬カットを実施します。内容は、村長・助役・教育長それぞれ五％カットを実施します。総額で約百万円余りの削減を見込んでいます。一方職員は、人事院勧告に伴い、給与制度改革を行います。具体的には、地域給与導入による平均給与の四・八％引き下げを行います。また、集中改革プランの策定に取り組み、人員の削減を含めた数値の目標化に取り組みます。
- 命を守る 昨年度から取り組んでいる自主防災組織は、現在までに、朝日出、相名、東川・中の川、魚梁瀬地区で組織化されました。本年度は、さらに組織率百％を目指し、地域での学習会等の推進と防災訓練の実施を継続します。また、国民保護法に基づく国民保護計画作成に取り組みます。

国土調査はじまる ご協力を

健康福祉課

村民の福祉と健康増進のため、心のふれあいを大切に、あったかい地域づくりに取り組みます。

●三力年大作戦!

今年度を起点として三年後の達成目標を掲げて、今年度は次の事業を中心に村民の健康増進に取り組みます。
働き盛りの年齢を対象とした健康づくりとして、村内事業所に対し、診療所医師、保健師、栄養士等を派遣し出前



健康維持のため、毎週木曜日の健康ほつとサロンでは「生き生き100才体操」を行っています。

会計別予算額と対前年度比較表

(単位:千円)

区分	平成18年度 予算額 A	平成17年度 予算額 B	比較 A-B	前年比 (A/B)
一般会計	1,448,700	1,871,000	△422,300	77.4%
特別会計				
簡易水道	34,100	28,800	5,300	118.4%
国保	119,500	133,200	△13,700	89.7%
診療所	104,400	98,000	6,400	106.5%
老人保健	232,800	198,500	34,300	117.3%
介護サービス	23,500	22,000	1,500	106.8%
計	514,300	480,500	33,800	107.0%
総計	1,963,000	2,351,500	△388,500	83.5%

健康講座を行います。また、事業所単位での万歩計の貸し出しを図り、積極的な運動参加への自觉を促します。
国民病ともいわれる糖尿病の予防と重症化の予防について取り組みます。
あったか心配り事業として、独居高齢者を対象とした訪問を行います。

●粗大ごみ有料化

安芸マルチセンター稼働によって、ごみ収集品目等の見

平成18年度村民一人当たりの一般会計予算額

1,263,034円/人…(1,448,700千円/3月住基人口1,147人)

消防費 34,790円 ・中芸消防署(消防・救急) 	農林水産費 244,872円 ・農道、林道、小規模事業など 	総務費 207,527円 ・住民票、戸籍、選挙、統計 ・有線放送、交通安全など
教育費 108,532円 ・小中学校、教育委員会 ・フルマラソン大会など 	商工費 38,583円 ・馬路温泉、魚梁瀬温泉 ・商工会、納涼祭など 	健康福祉費 275,337円 ・保育所、健康診断 ・年金、ごみ処理など
災害復旧費 3,357円 ・道路災害など 	土木費 34,938円 ・村道、河川管理 ・公営住宅建設など 	その他の経費 315,099円 ・議会、借入金返済など

平成17年度末 基金残高見込み	15億8千万円	平成17年度末 地方債残高見込み	23億2千万円
一人当たり貯金額	01,377,507円	一人当たり借金額	2,022,668円

産業建設課

産業の育成と生活基盤の拡充に取り組み、活力ある地域づくりに取り組みます。

直しによって塵芥処理費で前年度に対し、約九百六十万円の削減ができました。しかしながら、粗大ごみについては、引き続き多大な経費が必要と見込まれるため、四月一日から有料となりました。処分料は、持ち込みで二五円/kg、収集では三〇円/kgです。

●国土調査始まる

平成三十三年までの長期事業として、未登記地や境界が不鮮明な土地を無くし、適切な財産管理ができるよう、取り組みます。国土調査の実施に、ご理解とご協力をお願いします。

●農林業振興

農業従事者の高齢化対策として農道整備と農業用機器購入補助を継続します。また、未耕作農地の把握調査と併せて意向調査を行い有効活用を探ります。

●林業振興

山林作業の効率性を高めるため、押谷線、城山栃谷線、西谷朝日出線の開設を継続します。

●指定管理者制度開始

観光の核となる馬路温泉や魚梁瀬森林保養センターをはじめ公共施設の管理運営について、指定管理者制度の導入を行い、より柔軟な対応とサービス提供を図れるようになります。

教育委員会

さまざまな学習機会をとらえ、学校教育の支援はもとより、村を担っていく人的資源の育成に取り組みます。

●土佐の教育改革

教育への共感を深め、教育的風土を高めるため、地域との新しい関係を深めるとともに、キャリア教育の推進、研究を図り、教育活動や教育環境全体を見直します。

●馬路中学校耐震化

安全、快適な学習環境と地域の防災基地としての役割を果たすため、馬路中学校校舎の耐震補強工事及び大規模改修を行います。(平成十七年度繰越事業)

馬路村まるごと体験ツアー

2006年

2月21日^火～22日^水

上治村長の 一日案内ツアー



3月7日^火～8日^水

馬路の名物おぼろちゃん あみちゃんと作る らび寿司体験ツアー



村では交流人口の拡大を目指し今年から観光協会、青年団、役場職員などが中心となって地元の自然や産品を紹介し、素朴な魅力を伝える村の企画「馬路村まるごと体験ツアー」を行っています。内容は各種体験ツアーや上治村長、農協の東谷専務（現組合長）などがガイド役となって、参加者を案内するツアーです。現在馬路村には年間300位の視察団体

が訪れ、観光客を含めると約5万人が村を訪れています。そのほかにも交流人口を増やすため、インターネットで「特別村民制度」（特典：村にお越しの際は村長室で村長とごっくん馬路村が飲める。年に一回位特別村民広報送付）を行い現在1,700人（2月末）の方が登録し、164人の方が実際に訪れています。



▲体験参加者を案内する上治村長（エコアス馬路村にて）

ツアー第一弾として行われたのは、村長による「上治村長一日案内ツアー」。二月二十一、二十二日の一泊二日にわたり行われ、平日にもかかわらず、高知市などから家族連れら五人が参加してくれました。役場で村長に迎えられたツアー参加者は、村の概要やこれまでの地域おこしについて話を聞いた後、エコアス馬路村などへの案内を受けました。このツアーに参加された方からは、「さすが村長。わかりやすい説明で馬路のことがよく分かった」と感想を残してくれました。



◀うまじ寿司の作り方を参加者に教える山中修子さん

ツアー第二弾は、三月七、八日に行われた「馬路の名物おぼろちゃんすみちゃんとするうまじ寿司体験ツアー」。これは山中修子さんの指導により参加者がうまじ寿司を作るツアーです。参加者は「想像できないわさび寿司、木の皿鉢等すごい一言です。小さな村の頑張りや頑が下がります。料理も人情も温かい。ありがとうございます」。中には、何度も参加する方もいて「さまざまの意味で内容の濃いツアーでした」「楽しかった」などの感想を頂きました。

お山の伝言板

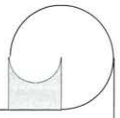
村のホームページの伝言板に寄せられたメッセージをご紹介します。

●私はミュージシャンの『ゆず』が好きです。以前から馬路村がゆずで有名なのを知っていただけ行ってみたいと思ってました。昨年『ゆず』の北川さんが馬路村を訪れたのを知り、さに行きたくなりました。私は、北川さんと同じ横浜市民です。いつか馬路村に行くので、その際は宜しく願います。

●初めまして、新潟のある町役場に勤務しています。先日、日比谷公会堂で行われた集会に参加し、馬路村の地域づくりについての報告を拝聴し、特産品はゆずであることを知り、我が町も特産品づくりに本気で取り組んでいかなければと強く感じました。新潟に帰ったらインターネットで注文しようと思いに決め日比谷をあとにしました。その夜、六本木で学生時代の仲



今後の体験メニュー(予定)



- 春 ・ 馬路温泉の総料理長と秘密の天然わさび狩りツアー 4/21~22
- ・ 馬路餅つき青年団との田植え体験ツアー(夜も勝負するきね!) 5/13~14
- ・ めったに味わえん秘密の天然黄いちご狩りツアー(あごが落ちるばあ甘いで~!) 5/20日帰り
- 夏 ・ 天然うなぎ漁体験ツアー(天然やき獲れんかったらゴメンで~) 7/8~9
- ・ 力勝負/いかだレース、フェスティバル魚梁瀬参加ツアー 7/15~16
- 秋 ・ 馬路餅つき青年団との稲刈り体験ツアー(夜も勝負するきね!) 9/23~24
- ・ 心臓やぶりフルマラソンスタッフ参加ツアー(給水でごっくん飲んでみんかね!) 9/30~10/1
- ・ 魚梁瀬地区村民大運動会参加ツアー(全日本選抜チームに参加してみんかね!) 10/22
- ・ ゆず収穫体験ツアー(ゆず畑でのお弁当は格別ぞね!) 11/18~19
- 冬 ・ 馬路はし拳大会参加ツアー(無制限3本勝負ぞね) 12/1~2



- 通年 ・ 馬路の豆腐づくり名人川内のおんちゃんとするうまじ豆腐体験ツアー
- ・ 魚梁瀬のおんちゃんと巡る日本かもしかウォッチング、千本山めぐりツアー
- ・ 馬路の名物おばちゃんすみちゃんとするうまじ寿司体験ツアー
- ・ 曲げわっぱ名人と作る曲げわっぱ体験ツアー(優しい杉のお弁当箱を作ってみんかね!)
- ・ 馬路名物かなば編み体験ツアー(優しい杉の香りのするコースターを作ってみんかね!)
- ・ 必殺馬路村職員との交流ツアー(夜は体力勝負ぞね!)
- ・ 島田のおんちゃんをつくるかずら編み体験ツアー(びっくりするよなえいもんができるで~!) (10~3月)

- 特別 ・ 上治村長の一日案内ツアー(馬路村の秘話がきけるかもしか?)
- ・ 東谷組合長の一日案内ツアー(馬路村農協の秘話がきけるかもしか?)



など多彩な体験メニューを用意しています。村民の方も自由に参加できますのでご希望の方はふるさとセンター(電話44-2333)までお申し込みください。

「ゆず」の北川さんと上治村長
12/22 村長室で



「ゆず」の北川悠仁さんも村訪れる!!
昨年には、歌手で「ゆず」のリーダー北川悠仁さんも村を訪れてくれました。北川さんは香南市(旧香美郡吉川村・天然色劇場)で行われた冬至の日のコンサートのあと来村し「以前から来たかった馬路村にやっと来ました。今日は、温泉やし鍋などを堪能しました。今度二人で来ます」とメッセージを残して村を去りました。

間と飲むことになり、若乃花の店「ちゃんこダイニング若」に行き乾杯となったのですが、なつなんとメニューにゆずチューハイ(馬路村産ゆず使用)とあるじゃないですか!!ビックリしました。早速オーダーして一口:味の良さにまたビックリ/おかげさまでたらふくいだいてきました。支払時はあまりの高額にまたまたビックリ!!ビックリだらけの東京出張でした。また機会がありましたら馬路村産ゆずを口にしたいと思えます。楽しい思い出ありがとうございます。

●馬路村のみなさん、旅行中、本当にお世話になりました。馬路旅行、今までは一味も二味も違った旅行で、本当に楽しい忘れられない旅となりました!!まるで所さんのダーツの旅のように(本当に来たことがあるらしいですね)たくさんの村民のみなさんに出会え、お話出来、ステキな時間を過ごせたことがとてもうれしかったです。みなさんあったかくて、旅の間中、感激しっぱなしでした。馬路村のみなさん、本当にステキな思い出をありがとうございます。願いが叶うお札に願い事を書いたので叶ったらまた馬路に行きます!!

教育を進める ②

魚梁瀬小学校
杉の子発表会
3月3日(金)

「子どもの主体性、やる気を尊重しながら、育てたい力の育成に向けてたゆまぬ歩みを続けたならば、子どもは育つ」。そう確信できる実践を紹介します。

(写真左より) 金山翼君：ドラえもん、小松留美さん：フンガくん「フンガくん」、高橋侑子さん：ヤカちゃん「パンネズミのヤカちゃん」、佐々木純伍君：ブンダパー(猫)「ブンダパー」、渡辺夏紫君：甚平(犬)「甚平の絵日記」 「」は書名 ▼



「乙女文楽を見た私たちは、人形劇をしたいと考え、図工や家庭科の時間に自分の好きな本の主人公の人形を作りました」、「作物を育てたことについての発表を人形にしてもいいです」。高橋侑子さん、小松留美さんの発声で魚梁瀬小学校の杉の子発表会五年生の部は始まった。

五年生は、実にさまざまな作物の栽培に挑戦してきたが、一番力を入れたのは稲のバケツ栽培だ。田のない魚梁瀬地区で種まきから収穫まで観察するにはこの方法しかない。「五月に植えた3、5本の苗が六月には約30本に増えていたのに驚いたよ」、「稲に花が咲くとは知らなかったから、

やりたい!から やり続ける!へ

とても小さい花がたくさん咲いたのにはびっくりしたね」と、人形たちの話は続いた。秋になり稲穂が色づくとき害虫が飛んできて米の汁を吸ったり、鳥避けのネットを張ったりと大変だったが、五名全員が一束ずつの稲を収穫することができた。

と、栽培学習は算数の学習へ、カニ雑炊、おにぎり作りの家庭科の学習へと発展した。「学習を続けて、小さな種の中のものすごいパワーに感動したこと、自分が育てたものは特別な味がすること、調理して好き嫌いが減ったことなど、たくさん学んだよ」と、渡辺夏紫君人形は誇らしそうに話した。しかし、心配もあるそうだ。佐々木純伍君は算数の学習で魚梁瀬小学校の友だちが朝食にパンとご飯のどちらを食べるか調べ、パン食の割合が多いことに気づいた。パン食は腹持ちが悪いだけでなく、原料の小麦をほとんど外国からの輸入に頼っている。また、高橋侑子さんは一年間の給食のおかずを調べた。牛肉の輸入問題、鳥インフルエンザの問題が給食にも影響していることを実感した。「日本の農業と漁業を盛んにすること、食べ物を無駄にしないこと、外国と仲良くすることが大切だよ」、「僕たちはいつも図書室にいるから一緒に遊んでね」という言葉で人形たちの発表は終了した。

稲を脱穀するのは指と校長先生直伝の割り箸、そして昔の農具「千歯こき」。もみすりはすり鉢とスリコギ。もみ殻を取り除くのがまたひと苦勞。吹いたり、うちわであおいだりすると、もみ殻だけできなく玄米も飛んでしまう。上皿天秤で量ってみると、もみ殻7、8ミリグラム、玄米10ミリグラムと、思ったほど差がなかった。さあいよいよ精米作業だ。玄米をごっくんのビンに入れて棒でつく。白米になるのに何日もかかった。「昔は全て手作業。時間がかかるから、白米にしなかったかもしれないね」と、金山翼君人形はしみじみ語りかける。六年生の歴史学習の中でこの実感がよみがえってくるのだろうか。苦勞して収穫した白米は一バケツ平均60グラム。「米の消費量は一人年間平均約60キログラム。バケツ何杯分?」

気づきから課題を決め追求する、魚梁瀬小学校五年生の「将来設計能力」は確実に芽を出し、育っている。

授業で キャリア

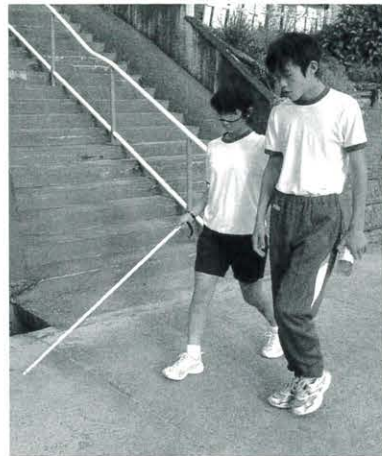
魚梁瀬中学校
日曜参観日
2月5日(日)

『思春期真っ直中の中学生は、人前で話すことに抵抗がある』と感じることはないだろうか。
ところが、それは乗り越えることができるんだということを魚梁瀬中学校総合的な学習の発表会で目の当たりにした。

視覚障害と聴覚障害について
人権学習を行った際、生徒代表として「今日は、私たちのために遠いところから来てくださって、ありがとうございます。聴覚障害について、いろいろ教わりたいと思います。よろしくお願いします」と、練習を重ねた手話で最初の挨拶をした和子さん。「どうもありがとうございます」

られた。
また、農協ストアでの視覚障害者に優しい製品を見つけての学習では、製造会社に電話で問い合わせをし、「点字は大切ですね。これからの製品作りに役立てます」とお礼を言ってもらえたそうだ。
体験を通じて実感した内容を聞き手に伝えるのだから力

伝える努力、伝わる感動



▲ 白杖体験



▲ 手話付き応援歌発表

て発表した滝本和子さんと山崎次朗君の二人だ。
彼らの発表は最初から良かったわけではない。下を向き、小さな声、早口と改善するところばかり。しかし、学習の中で伝わることの喜びを学んでいった彼らは変わろうと努力した。

聴覚障害を持つ講師を招き
聴覚障害について、いろいろと分かりました。聴覚障害の人も、私たちも、幸せに生きる世界をつくらせていきたいです。今日は、本当にありがとうございます。今日、本当にありがとうございます。長いあいさつをした次朗君。長いあいさつを無事終えた二人は、講師の先生から「通じたよ」というサインと輝く笑顔を贈

が入る。「、」や「。」、
「段落の始まり」の間をゆっくり取ること、「はな」が「あな」に聞こえないようはっきり発音することを徹底して練習した。また、すべての仲間への「応援歌」も手話付きで堂々と歌い、「あいさつがあそこまでやるとは、本当にすごい」と、保護者をうならせるまでになったのだ。

村ではキャリア教育の根っことなる基本的な生活習慣、社会の基本ルール・マナーを身につけるため、平成十八年度より「馬路っ子 六つの約束」の定着に取り組むことが決まっている。

子どもの良さを認め、励ましながら、子どもたちと一緒に
なって「馬路っ子 六つの約束」をねばり強く実践し続けよう。きつと「望ましい勤労観・職業観を持ち、たくましく未来を切りひらく子どもたち」がたくさん誕生し、将来の馬路村を支えてくれることだろう。

馬路っ子 6つの約束

- 1、早寝・早起き・朝ご飯で元気なからだ
- 2、あいさつができる
- 3、約束や時間を守ることができる
- 4、整理整頓や掃除ができる
- 5、話を静かに聞くことができる
- 6、考えや思いを話すことができる

待ちに待った「ゆずの森加工場」

馬路村農協の「ゆずの森加工場」が完成し、平成十八年三月十八日、鯨島中四国農政局長をはじめ、橋本高知県知事、中谷衆議院議員、浜田県会議員ら多くの関係者が出席して盛大にしゅん工式が行われました。

日浦に完成

村農協は、旧馬路営林署の貯木場跡地を活用し、村の歴史や文化などを体験しながら交流できる「ゆずの森」を整備しています。平成十四年度に柚子搾汁工場（白の土佐漆喰を使用）、十五年度に直売所・パン屋を建設してきました。

注文を受けるオペレーター室、新商品開発や品質を管理する研究室、百人規模の視察にも対応できる研修室などが整備されています。また、「安心・安全な食品づくり」に徹底的にこだわり、食品安全管理の仕組みを定めた国際規格

組合長に就任）によると「全国各地の施設や地域づくりを参考に、山村馬路らしいゆずの森加工場を目指し、視察や観光客を呼べる自信のある施設が完成しました」と話しています。

ゆずの森加工場前には、コ

ドリンク製造二倍に

新商品開発の研究室も

た。そして、今回加工場を整備し、今後は、体験施設や交流施設を徐々に整備していく予定です。

ゆずの森加工場は、十五年度から国の補助金を活用し、三年の歳月をかけて完成しました。鉄骨二階建て、延べ床面積四千四百七十五・二二㎡、外壁は黒の土佐漆喰と村産の杉、内装にも杉をふんだんに使用しています。新加工場は、ごつくん馬路村などのドリンク製造工場で、これまでの二倍の生産能力があります。このほかに、商品を箱詰めするピッキング室、全国からの

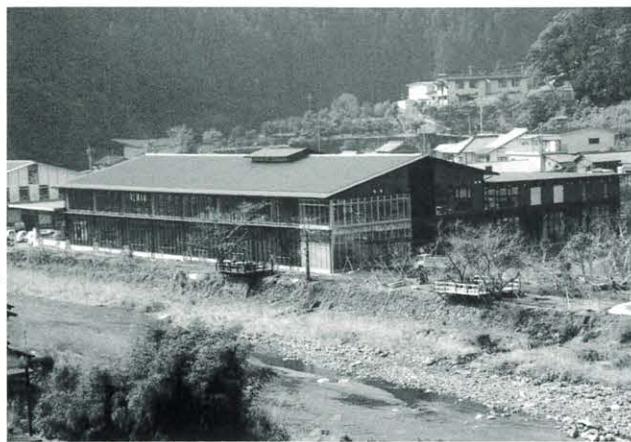


観光客等には、馬路の風をゆっくり感じて村を楽しんでほしい。そんな思いも込めて施設周辺に森を造ってみました。などいくつかのこだわりを語る東谷専務（現組合長）

ISO22000に対応した施設です。新加工場完成に伴い、相名地区にある加工場では、ゆずみそ、ゆず一家、ゆずこしよなどの多品種小ロット商品を製造します。

農協東谷専務（四月一日、

ナラ・モミジなど約五百本あまりの広葉樹の森が広がって、加工場の見学に、お弁当を持ってピクニックはいかがでしょうか。



黒を基調として重厚で趣のある「ゆずの森加工場」。庭には500本余りの広葉樹が植えられた

Mr. ガールの エッセイ

④
外国語指導助手 カール・レイフ・エリクソン
(アメリカ合衆国、ミネソタ州、サークルバインズ 出身)

犬 >>>>>

僕は犬が大好きである。僕が小さな子どもだった頃から、ずっと好きなのである。8歳の頃、初めて母に犬が欲しいと言ったが彼女は関心を示さなかった。その後、何日間、何週間、何か月間と犬について調べ上げて、僕の両親に犬を飼わせてくれるように頼んだ。そしてついに、僕は犬を飼うことを許されたのだ。僕の最初の犬はサーシャという名の美しいシベリアンハスキーだった。一年後、僕はマックスという名の別のシベリアンハスキーを手に入れた。サーシャとマックスはとても元気で、しつけるのが難しかった。

僕はしばしば彼らとそりを引くなどして楽しんだ。(下は犬ぞりの準備ができた僕の写真である)サーシャとマックスは僕が13歳のときに、事故で2匹とも死んでしまった。6カ月後、PJという名前別の犬を手に入れた。PJは黒白のぶちの、スプリングー・スパニエルである。PJはずっとしつけやすく、とてもマナーの良い犬になった。PJは僕が大学に通っている頃、一緒に暮らしていたけど、今はアメリカで僕の両親と暮らしている。

犬は僕にとってとても特別であり、長期

人間とのかかわりは信頼関係

にわたり人間と特別なつながりを持ってきた。科学者は、イスラエルで12000年以上前の犬の骨を発見し、人間が犬との関わりを約14000年前に持ち始めただろうと推測している。

近代的な狩猟の道具が発明される前、犬は利用できる最も効果的で役立つ助手だった。今日たくさんのタイプの犬がいるという主な理由が猫なのだ。

多種の犬は異なる猫の仕事のために創り出された。例えば、キツネ、野ウサギ、アナグマの猫のために飼われている。グレイハウントはそのするどい視野とスピードのために育てられている。そして日本には、狩りのための柴犬がいる。

近頃は、犬は狩りのためだけ(に使われる)ではなく、たくさん他の目的に使われている。“盲導犬”は、目の不自由な人を助けるのに使われる。“麻薬犬”や“爆弾犬”は空港で、“救助犬”は行方不明の人を捜すために働いている。犬にはたくさんの能力があるけれど、僕にとって犬の最も良いところは、飼い主とその飼い犬との間の無条件の信頼関係だと思う。そのような信頼関係を築くために、飼い主は自分の飼い犬を尊敬し、信頼し、鍛え、愛さなければならない。

このことが新しい犬マテオを飼うきっかけとなった。マテオは現在6カ月で15kgだ。マテオはハスキーとラブ(ラブラドル リトリバー)が混ざっている。マテオはとても賢くしつけのみこみが早い。僕はマテオにマナーと服従を、毎日少なくとも1時間教え、マテオの良いふるまいに毎日1時間報いる。僕はマテオが素晴らしい成犬に育つと思っている。そして僕が日本をたつ時に、彼をアメリカに連れて帰ることを楽しみにしている。



▲ 僕が9才のとき
マックス・サーシャと

▼ PJ (ピージェイ)



▲ マテオ

馬路村を健康優良村に

Dr 高芝のうんちく・

UNTI-KU

前回の「うんちく」で健康劇『猫井家のメタボリック大作戦』をご紹介しました。

皆さん、ご自身のウエストサイズを測ってみましたか？男性八十五cm、女性九十cm以上の方は、要注意でしたね。

今回は、先日、医療センター黒潮ホールで開かれた、第二十回高知県保地域医療学会でのパネルディスカッションで、私が発表した内容を元にお話したいと思います。

タイトルはズバリ、『馬路村の健康問題とその対策』。

結論から言いますと、村民が年齢を重ねても身体的に健康で居られるためには、二十歳代から生活習慣を正す必要があることが判りました。これは、高知県国保連合会による「医療費分析モデル事業」で馬路村の健康状況を分析した結果、明らかに変わったものです。

つまり、四十歳代で生活習慣病が明らかになるケースが増加するのですが、発見できたときには、すでに重症化し

て、後戻りできない状態になっていくことが少なくないということなのです。

そこで、早い段階から生活習慣に気を使い、病気の発症を予防する必要があるといえるでしょう。報告書のコメント

メタボリックと肥満

トには、「基本健診の対象をもっと若い層まで広げ、例えば二十歳代からにしたほうが良い」との趣旨が書かれています。(ちなみに現在馬路村では四十歳以上が対象者となっています)

ご覧下さい、馬路村で肥満の人の割合が全国に比べて大きいことを示しています。特に五十九歳までの比較的若い層の男性では顕著ですね。女性では年齢層に関係なく、やはり肥満が多いという結果です。

しがちです。肥満は、脳卒中や心筋梗塞の危険を高めるだけでなく、がんの発症とも関係があるとわかっています。男性では大腸がん、前立腺がん、女性では乳がん、子宮体がんが、食事内容の欧米化に伴い増加しているようです。

メタボリック症候群Ⅱ前号二二七号参照Ⅱは肥満と大の仲良しです。是非、皆さん協力してメタボリック症候群撲滅に向けて、取り組んで行きませんか。

平成16年度基本健診結果からみた
村民の健康状況

	40～59歳	60歳～	合計
男	11/15 73.3%	26/99 26.3%	37/114 32.5%
女	9/26 34.6%	51/139 36.7%	60/165 36.4%
合計	20/41 48.8%	77/238 32.4%	97/279 34.8%

※ 上段はBMI 25以上の人／受診者総数 (人)
下段は上段の割合 (%) を表す。

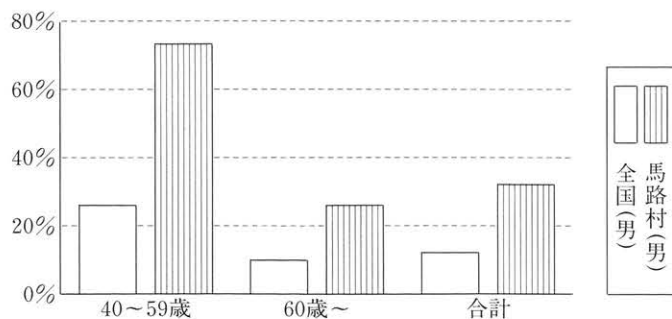
※ BMI = 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)

(例) 身長166cm、体重65kgの人の場合
BMI = 65 ÷ 1.66 ÷ 1.66 = 約23.6

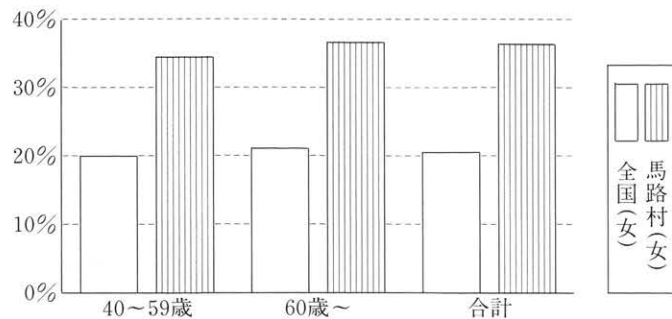
BMI	18.5	22	25
	やせ	標準	肥満

BMI 22のときの体重が最も病気にかかりにくいとされ、25以上の場合を「肥満」とする。

男性 肥満の割合



女性 肥満の割合





ふるさとに のんびり

馬路を離れて二十八年が過ぎました。高校を卒業後、徳島の短大に進学し、まさかそのまま住む事になるとは思いもせませんでした。が、年月の経つのは早いものです。

子どもたちも成長し、上の息子は大学を卒業後、自衛隊体育学校に入校しライフル射撃で北京オリンピックを目指すと道へ、娘は動物の専門学校を卒業し大阪で就職。

子育ても一段落したのを機に一昨年夫と包装資材の会社を立ち上げました。主にペットフード(ゴン太君のCMでおなじみのサンライズやドギーマンなど)や、徳島の鶏「阿波尾鶏(あわおどり)」の包装の企画デザイン等を行っています。

事業もなんとか軌道に乗り始め、昨夏からは娘が戻り事務所を手伝って来ています。

今年も、娘と山菜採りに帰る予定ですが、二人の一番の楽しみは馬路温泉に入る事です。ごめんなはり線の開通により、交通の便も良くなり田植えや稲刈り、柚子の収穫と家の手伝いを口実に身軽に帰る事が出来るようになりました。安芸駅では、馬路温泉を探していた長野県の夫婦と出会い、道案内

をしたのが縁で長野まで招待されるという楽しい出来事もありました。

子どもの頃、真っ黒になって遊んだ川やアケビ採りに行った山、木登りをした柿の木など、思い出の場所も風景も今では随分と様変わりしてしまいました。少し寂しいところもありますが、やはり故郷は帰るとどこかほっとできて気持ちの良い場所です。

両親が健在である事や、いつも温かく迎えてくれる同級生がいる事に感謝しつつ、ふるさとへの便りの締めくくりとします。

▼娘と事務所にて



徳島市
旧姓岡田・影出身
るみ

いびき・おはり線
とともに

お待たせしました パン工房「ゆずの花」再開



フォト人ウォッチング³³ 佐藤 正博 さん



新潟県出身の佐藤さんが馬路村へ来たきっかけは、友達の家へ届いた、ゆずの風新聞の「パン屋募集」を見たこと。

独学でパンを焼き始め、小さいパン屋さんを経営していた佐藤さんにとって、実際馬路村に来てみると、使ったこともないような大きなオーブンや、設備にとまどいながらも『ここでパンを焼きたい』と直感したそうです。

三月十七日にお店をオープンさせましたが、毎日毎日勉強で、目で見ても、においがかいで、味を確かめて、そう

したパンが今ケースに並べられています。佐藤さんの焼くパンは自家製酵母、無添加のためかめばかむほど味が出るちよつと固めのパンです。添加物漬けされた味に慣らされている現在だからこそ、素材を生かした無添加の素朴な味を目指しているそうです。

山が近くて、月が近くに見える、そんな環境で一日パンを焼くことが今は楽しいそう。モーニングは、朝七時からコーヒール、パン、サラダ、スープ、卵のバイキング形式です。

「たくさんの種類のパンを焼きたくて、まだまだ試行錯誤を繰り返していますが、自分が健康でないとおいしいパンは焼けません。早く馬路村の生活になれて、村を知り、いろんな人と知り合いたい。お客さんがお店に足を運んでくれることが一番の励みです。

それに応えられるよう、安心、安全で皆さんに喜ばれるおいしいパンを作り、そして自分自身も仕事が楽しく長く続けられるようがんばります」と佐藤さん。早くパン工房『ゆずの花』の顔となりますように。

馬路村の歴史と伝説



馬路公民館長

山中

巖

(通算第121回)

口魚梁瀬熊野神社(大領権現)の例大祭など

A 例大祭の前、五日間は神社へ入れば外へ出ることはできない。

B 神社の下の川で齋戒沐浴をする。

八天の神まつり

A 天の神へお祀りする稲穂は作る田が決められ、当主が作り、当主が祀る。

B 家族がお産をする場合は母屋は厳禁、別棟の部屋。

別棟がない場合は仮りに別棟を建てたと考えられる。

C 肉食は厳禁。

右記の精進潔斎は、現在事情によってほとんど休止されている。

一、漬物の味がちがつて食べられなくなるその家に災難がかかる

二、親がこの世で一番辛いのは子どもに先だたれることだ昔から「親は死ね子は死ぬ次に孫は死ぬ」がおめでたい句とされている。

三、誓文払い

商人らが止むを得ずついたうその罪を払うため神に

四、精進潔斎

神仏に仕える前に汚れをさけ心身をきよめること。

村で行われてきた主たることを簡条書きにしてみる。

イ 馬路熊野神社(十三社妙見大権現)の例大祭など

A 「火をきる」は、食をその人だけが煮炊きして食べ

家族や友だちの家へ行つて食事をしないこと。私が軍

村の故事・俗信(八)

祈った風習がもとなる。

馬路村では商店が年末に大安売りしたり、またクジを引かせて等級によって品物があつた。村民の大きな楽しみであつた。

商工会が発足してからはその主催をしてきたが、現在は商店も少なくなり、その方法も変わってきている。

隊へ入る前に、みこしをかいた時は七日火をきつた。

B 四つ足の動物など肉食をしてはならない。牛乳も飲んでほならない。

C 安田町三津石の海岸へ行つて潮垢離(海水でみそぎをする)をする。

以上は、みこしをかく人、当人の守る最低限のことである。

五、葬式の棺をかく棒に巻いた

白布、竹につけた幟の布など、海、山の嶺に持つて行くと獲物が多くとれる

昔はほとんど土葬であつたのでよく行われた。現在は火葬が多くなり見られなくなった。

葬式については以前も記したがまだ多くある。

現在方法が変わりつつある。

馬路村俳壇

なお、葬式は「友引の日」は「ともを呼ぶ」と言つて行われぬし、出産した場合、神様へのお参りをさけ

古箏箏庭にならべて屋根を音く雨を呼び剪枝の棘をもやしをる

じやがいもの畝ほどよく曲る山の畑

強霜を踏めばガラスの割れる音

ビニールを外せばバセリ双葉たつ

春蘭の強きが欲しとひとり言

白じらと明けゆく庭に春の雪

朝日さす畑の隅のビタミン菜

爆音は雲のかなたに黄水仙

問診の患者とおなじ花粉症

湯けむりの土手に土筆をひとにぎり

遠足のこの日ばかりは菓子もよし

パソコンで教え受けるや申告期

園児らが「大発見」とつくしんぼ

めづらしく正座してをり雛あられ

なにごとか窓の外には春の雪

鶯の鳴き声くぐり配達す

みつ峰も入りきて会議はじまりぬ

仏の座かんのんさまを根囲ひに

春嵐さりし榎木に茸ひとつ

クロツカス儂きほどの茎白き

鶯のきて花芽凌うてゆきにけり

鶏声のかさなりくるや路の臺

春の風邪白湯のうまさを知りにけり

御神籤を花とむすべば春の雪

町並のそらの煙突ぼたん雪

掬ひあぐ春の氷のこぼせる朱

東谷 晴男

るなど、「クロビ」(死火)

「アカビ」(産火)をきら

う人が多い。中にはそれほ

どきらわぬ人もいる。

山崎喜久子

中屋 良子

山本 美幸

高芝 俊二

高芝 栄子

山崎 裕之

氏原 淑

池 蘭子

東谷 晴男

自立協議会報告

総務部会（部長 湯浅 雅文）

総務部会は平成十七年二月から合計五回の協議会を開催しました。

一回目の会議では、村から提出の財政資料について話し合い、二回目、三回目は、住宅料、定住事業について、四回目は、借地料、

保険料、職員の対応等について話し合い、その結果を五回目の会議でまとめました。

何回か会議を進める中で、参加者からは「漠然としすぎていてつかみにくい」「もう少しテーマを絞って話すことが大事」「利用されていない施設

の見直し計画を立てるべき」「行政からのテーマがほしい」との意見が出されました。

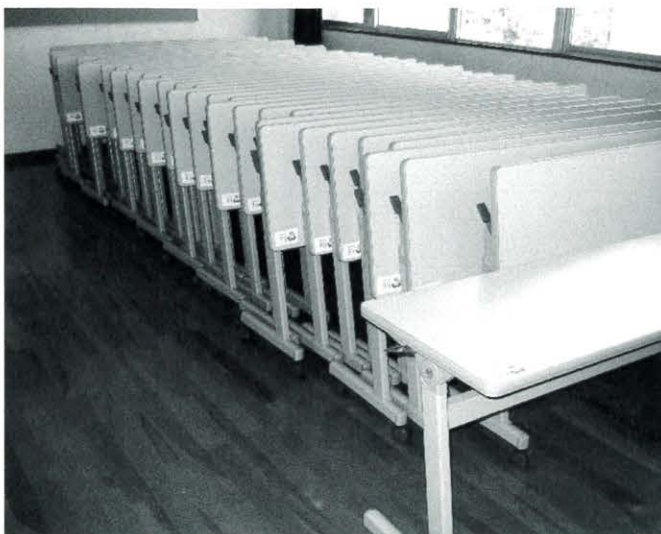
自立協議会の活動意識が停滞ぎみである中、再度自立とはどういう意味なのか、行政と住民が一つになって進めていかななくてはならない問題であると考えさせられました。

平成十七年度 宝くじ助成事業

平成十七年度宝くじ助成事業により馬路村コミュニティ

センターにコミュニティ休憩所一式、研修用和机三十

七台・イス七十脚・テーブル四十二台、電気メデイカルチェア一三基がそれぞれ整備されました。



子どもたちと教室で学んでみませんか？

馬路中学校 『わくわく教室』受講生募集のお知らせ

目的

村民の方々に、学習の機会を提供するとともに、学校を知ってもらい、学校と地域の連携を深めることを目的として、学校の授業を村民の方々に開放します。

中学生のころにもどって、子どもたちといっしょに学んでみませんか。

募集人数 : 各コース2～3名程度

締め切り : 4月21日(金)まで

くわしくは、馬路中学校 TEL42-1007まで

開設教科と内容等

教科	内容	授業実施予定
英語1年コース	中学1年の英語の内容	週4時間 (英会話コースも含む)
英語2年コース	中学2年の英語の内容	
英会話コース (1年又は2年)	村のALT カールさんと一緒に英会話などの学習	2週間に1回の割合で木曜日に実施(年間17回程度)
社会1年コース	地理 (世界の国、日本の都道府県) 歴史(古代から江戸時代)	週3時間
社会2年コース	地理 (日本の自然、くらし、産業) 歴史(幕末から現代)	

お知らせ

日 日時
問 問い合わせ先
TEL 電話

交通事故で困ったときは

近時、交通事故の態様も複雑化し、その解決にお困りの方々のために「自動車保険請求相談センター」を設置しています。自動車損害賠償責任保険並びに任意自動車保険の請求について、無料でご相談をお受けします。

問 (社)日本損害保険協会
高知自動車保険請求相談センター
TEL 088-825-0318
日 相談日
月～金曜日(祝日を除く)
9:00～12:00・13:00～17:00
弁護士相談日
毎月第1金曜日 13:00～16:00
(予約制・相談無料・要面談)

障害基礎年金の受給権をお持ちの方へ

平成18年4月から、65歳以上の方については障害基礎年金と老齢厚生年金・遺族厚生年金・退職共済年金・遺族共済年金をあわせて受けることができるようになりました。

あわせて受けるためには手続きが必要です。

問 南国社会保険事務所
TEL 088-864-1111

便利でおトクな「前納制度」

一定期間分の国民年金保険料をまとめて納付する「前納制度」をご利用いただくと、保険料が割引となりお得です。

《平成18年度保険料額》

	定額保険料	前納金額
1年分	166,320円 (13,860円×12ヶ月)	163,370円 (2,950円おトク!)
6ヶ月分	83,160円 (13,860円×6ヶ月)	82,480円 (680円おトク!)

月々の納付も口座振替の「早割」なら月額50円おトクです。

問 南国社会保険事務所
TEL 088-864-1111



▶ あいさつ標柱全七本

馬路地区に設置された新しい木製の標柱にお気づきですか。広報二二七号でお知らせしましたあいさつ標柱七本(標語十四作品)を三月二十六日、中央橋から小・中学校までの間、学校入り口に設置しました。にっこりの会では、家庭で、地域で、職場で、あいさつが自然にできるように活動をし

あいさつ標柱設置 にっこりの会



▲「あいさつで元気な村に」の願いをこめて 3/26

編集後記

村では子どもたち一人ひとりが将来、社会人・職業人として自立し、それぞれが幸せな人生を築いていくために必要な基礎的・基本的な能力の育成をめざして、馬路の子どもにつけたい力として「馬路っ子六つの約束」を掲げました。子どもたちがこの村でさまざまな学習や体験を積みながら、豊かな心を育み、いきいきと前向きに人として成長できるためには、学校・家庭・地域の果たす役割は大きいですね。(久)

ていきたいと思っています。今年度も引き続き毎月第二、第四火曜日朝七時三十分からあいさつ運動を行いますので、ご協力をお願いします。

村内あちらこちら



2月5日 魚梁瀬小学校参観日



2月21日 わくわくキッズ英語広場



3月23日 馬路小学校卒業式



3月26日 馬路婦人会安田川清掃作業



3月30日 救急医療講習

村のできごと

《2月》●

- 2日 行政改革推進委員会
- 3日 東部美術展（奈半利町）（～6日）
- 4日 中芸子ども会駅伝
- 5日 キャリアアドバイザー蝦名彰人氏
氷の芸術実演・講話（魚梁瀬中学校）
馬路小学校・魚梁瀬小学校参観日
- 6日 小学生スキー教室（久万スキーランド）
- 10日 馬路熊野神社防火訓練
- 14日 道徳研修（魚梁瀬中学校）
子育てサポーターリーダー養成講座
- 16日 キャリア教育推進協議会
- 18日 森林ボランティア間伐
わくわく科学教室
- 20日 臨時議会
村長が一日村を案内するツアー（～22日）
- 21日 わくわくキッズ英語広場
子育てサポーターリーダー養成講座
- 28日 子育てサポーターリーダー養成講座

《3月》●

- 3日 ひな祭り発表会（馬路小学校）
杉の子発表会（魚梁瀬小学校）
おらが村いのちの教育研究会
- 4日 森林ボランティア間伐
- 5日 公営住宅見学会
- 7日 すみちゃんとするうまじ寿司体験ツアー（～8日）
わくわくキッズ英語広場
- 10日 3月定例議会開会（～16日）
- 12日 魚梁瀬中学校卒業式
- 14日 子育てサポーターリーダー養成講座
- 15日 馬路中学校卒業式
- 18日 ゆず加工場しゅん工式
- 23日 馬路小学校卒業式
農協東谷専務が一日村を案内するツアー（～24日）
- 24日 馬路保育所卒園式
魚梁瀬教職員送別会
- 25日 魚梁瀬保育所卒園式
- 26日 馬路婦人会安田川清掃作業
- 28日 社会教育スタディツアー
農協総会
- 30日 救急医療講習
- 31日 庄屋祭り・鬼門堂祭
村表彰

4月・5月 むらの行事予定

月		4 月		月		5 月	
日		日		日		日	
1	土			1	月		
2	日			2	火		
3	月			③	水		憲法記念日
4	火	絵本のよみきかせ (多目的施設) 10:30~11:00		④	木		国民の休日
5	水	保育所入園式		⑤	金		こどもの日
6	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00		6	土		
7	金	村内各校始業式、入学式		7	日		
8	土	職域ソフトボール大会 (村民運動場)		8	月		
9	日	桜祭り、山村留学体験 (魚梁瀬)		9	火	絵本のよみきかせ (多目的施設) 10:30~11:00	
10	月			10	水	魚梁瀬健康ほっとサロン (多目的施設) 10:00~16:00 魚梁瀬子育て支援教室 (多目的施設) 10:00~11:30	
11	火			11	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00 校外美化活動 (魚梁瀬小学校)	
12	水			12	金	一日行政相談 (就業改善センター) 9:30~12:00	
13	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00		13	土		
14	金	人権・一日行政相談 (就業改善センター) 10:00~15:00 3歳児健診 (奈半利町保健センター) 13:00~受付		14	日		
15	土			15	月		
16	日			16	火		
17	月			17	水	ポリオ 魚梁瀬診療所 10:00~ 馬路診療所 15:00~	
18	火	献血 馬路村農協ゆずの森加工場 10:00~11:00 馬路村就業改善センター 12:30~13:30 春の遠足 修学旅行 村内中学校2・3年生 (~21日) (魚梁瀬小学校)		18	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00 馬路子育て支援教室 (交流センター) 10:00~11:30 乳がんマンモグラフィ検診 (就業改善センター) 9:00~16:00	
19	水	魚梁瀬健康ほっとサロン (多目的施設) 10:00~16:00 魚梁瀬子育て支援教室 (多目的施設) 10:00~11:30		19	金	乳幼児健診 (田野町保健センター) 13:00~受付	
20	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00 春の遠足 (馬路小学校)		20	土	めったに味わえん秘密の天然黄イチゴ狩りツアー	
21	金	乳幼児健診 (田野町保健センター) 13:00~受付 馬路温泉総料理長と秘密の天然わさび狩りツアー (~22日)		21	日		
22	土			22	月	校区ちり拾い (馬路小学校) 土佐二十四万石博ふるさと交流出展 (高知市丸の内緑地) (~26日)	
23	日			23	火	絵本のよみきかせ (交流センター) 10:00~10:30	
24	月	犬・猫収集日		24	水	魚梁瀬健康ほっとサロン (多目的施設) 10:00~16:00	
25	火	絵本のよみきかせ (交流センター) 10:00~10:30		25	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00	
26	水	魚梁瀬健康ほっとサロン (多目的施設) 10:00~16:00 参観日 (馬路小学校) 馬路小・中学校PTA総会		26	金		
27	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00 馬路子育て支援教室 (交流センター) 10:00~11:30		27	土	中学校中芸夏季大会	
28	金			28	日		
⑳	土		みどりの日	29	月	犬・猫収集日	
30	日	参観日 (魚梁瀬中学校)		30	火		
				31	水		

人口 月中異動	増 加				減 少				月末現在 人口合計
	出生	転入	職権	計	死亡	転出	職権	計	
2月	0	1	0	1	3	2	0	5	1,147
3月	1	10	0	11	1	30	0	31	1,127

(馬路 869人, 353世帯)
(魚梁瀬 258人, 129世帯)

馬路村特別村民 1,725人 (3月31日現在)

編集発行：馬路村教育委員会

住 所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村馬路443

TEL0887-44-2216 FAX0887-42-1010

E-mail adress umaji-v@kochinet.ed.jp

印 刷：有限会社 大鳥 (安芸タイプ)